

日本最後の清流を守れる町

日本一、町民が川を見ている町なのかもしれない。

同じこの町に住んでいても、「四万十川」に対する思いや関心度は違います。

先人たちが守り抜いてきたこの「四万十川」と流域の大自然。100年後の未来に残すためにも、山に入り、川に目を向けながら、一人一人ができることをこの瞬間から始める。これが今を生きる私たちの責任なのです。

四万十で生きる私たちの責任として、この四万十川を守り育て、次世代にしっかりと継承していきたいと思います。
中尾 博恵

ちょっとしたことも、みんなで続ければ、大きな効果となります！

意識が変われば、できることがあります！
あなたも今日から、始めてみましょう！そして続けてみましょう！

台所編

- ・食器を洗う前に、油污れなどはふき取ろう。
- ・洗剤は適量を水で薄めて使おう。
- ・野菜の切りくずなどの細かいゴミは、流さないようにしよう。

お風呂編

- ・排水口に目の細かいネットを張り、髪の毛をキャッチしよう。
- ・石けん、シャンプーなどは使い過ぎないようにしよう。
- ・残り湯も有効に使おう。

洗濯編

- ・洗剤は計量スプーンでしっかり計ろう。
- ・くず取りネットを付けて、細かいゴミをキャッチしよう。
- ・大正地域の廃油せっけんをぜひ使ってみよう。

その他編

- ・増水しそうな時は、川の近くにある資材などは片付けよう。
- ・水田の代かきは、浅水代かき、止水板利用を心掛けよう。
- ・4月は四万十川一斉清掃に参加しよう！

広報 2024.5月号の反響！

「三島キャンプ場」のリニューアルオープン特集した5月号。現地には嬉しい反響が。

- ・「広報に載ってたね」と声を掛けてくれたり、下見に来てくれるお客さまが増えた。
- ・「広報を見て」と、町内高校の同窓会を三島キャンプ場でやりたいとバンガローの予約が入った。

5月号には、町内の他のキャンプ場情報も掲載しています。夏休み前に、もう一度チェックを！



イベントのお知らせ

四万十川の渓流・日野地川での真夏の冒険。小学生限定イベント開催！

7/27(土) 9:30～13:30

集合場所：ホテル松葉川温泉
内容：沢くだり・飛び込み・アメゴ塩焼きなど

お申し込みはこちら



01 Interview

片岡 正幸さん(六反地)

幼少期から川で小魚を取って育った、四万十川歴70年の片岡さんに、今の状況を聞いてみました。



—昔の四万十川と比較して、今の四万十川はどうですか？

川に魚がいなくなったね。昔は、ウナギも10匹くらいすぐ取れたけど。

—なぜ魚がいなくなったのでしょうか？

10年ほど前から、川底の石が土砂に埋もれて、石を剥ぐっても小魚の餌となる虫がいなくなったからね。

—石が土砂に埋もれた原因は？

幾つかあるろうけど、一つは荒廃した人工林から土砂が川へ流れ出ること。大事なものは奥山で、きれいな水系の奥山には、必ず雑木林がある。山に手を入れ、山の貯水力さえ戻れば、必ず川も変わると思うけど。

03 Interview



中脇 愛子さん(浦越)

病気のご主人に代わり、35年近く川でアユ漁を行ってきた中脇さんに、ダム下流域の状況を聞いてみました。

—昔の四万十川と比較して、一番何が変わったと思いますか？

水の色やね。昔は透明度が高くて、4～5m向こうでも魚が岩陰に入っていくのが見えよったよ。今は、笹濁りの水になってしまった。

—ダムの影響は感じますか？

自宅近辺の川は、小石が流れて来なくなって、河原も下がった。今まで見えてなかった大きな石が見えたり、風が変わってしまったよ。

—上流からの農業排水やゴミの影響は？

農業排水による濁りはここまでは来ていない。大水の度に、昔は発泡スチロールやビニール袋が流れてきたが、今はそんなゴミも減った気がする。

移住者 Interview

「正直、四万十川はもっとアユが釣れると思ったよ。僕の腕が悪いのかな」



柳瀬 武司さん
(替坂本)

—四万十町に移住した決め手は何ですか？

移住先の絶対条件は、山川海があることでした。それと出身が和歌山県で、幼い頃から有田川でアユの毛バリ釣りをしていたので、アユ釣りはしたかったんです。この条件にピッタリはまったのが四万十町でした。

02 Interview

田邊 憲三さん(西ノ川)

長い間、山の仕事に携わり、今は川漁師として四万十川に通う田邊さんに、山と川の関係について聞いてみました。



—山が今の四万十川に与えている影響ってありますか？

もちろんあるよ。雨が降ったら、山の土が大量に川に流れ出して、茶色く川を濁らせている。

—昔はそんなに山の土が、川へ流出することはなかったのですか？

昔とは流出する土の量がけた違いに多い。山の間伐方法が、架線集材から作業道搬出に変わったことや集中豪雨が増えたことなど、原因はいろいろあると思うけど。

—川の石に土が付着しているのは、流出する土の量が増えたから？

雨の降り方が、台風のような長い大雨から集中豪雨のような短時間の大雨に変わった影響もあると思う。

まずは町の職員さんから、川を見てその汚さに気付いてほしい



三浦 宏仁さん(茂串町)

タクシー業を営みながら、自身も釣りを好む三浦さんに、観光資源としての四万十川について聞いてみました。

—今の四万十川を観光資源としてどう思いますか？

年に何度か県外からの観光客を、タクシーで沈下橋へ案内することがあるけど、そんな時いつも「遠くからわざわざ来てくれたのに、こんな汚い川を見せてごめんね」って思います。すぐく申し訳なくて…。

—観光客に自慢できる四万十川はもうないのですか？

秋の四万十川なら今でも胸を張って自慢できる。この時期なら、農業濁水もなくて、アユが川石を磨いて、本当に川の中が明るくて川が輝きゆうように見えるさ。

小さい頃から川で遊び、そして川と共に生活を送ってきた4名の方々に、それぞれの立場で感じる四万十川の変化や川に対する思いを伺ってきました。

四万十川をずっと見てきたから思うこと。